

令和8年7月21日

大学院生各位

「大学院教育改革フォーラム 2026」大学院生向け企画の参加者募集について

AIをはじめとする技術革新、地球規模課題の深刻化、価値観の多様化により、社会はこれまでにない複雑性と不確実性に直面しています。こうした時代においては、深い専門知に加え、分野横断的な視点と総合知を備え、複雑な利害を調整しながら新たな価値を構想・実装できる博士人材の力は、産業界・行政・大学・地域社会・国際コミュニティのいずれにとっても不可欠な社会基盤となりつつあります。

「大学院教育改革フォーラム」は、こうした背景のもと、全国の大学が取り組む先進的な教育プログラムやその成果を共有し、大学関係者や学生がともに議論を深める場として、文部科学省主導の下、平成24年度より開催されており、今年度は九州大学が主催校として、「大学院教育改革フォーラム 2026」を12月に開催いたします。

今回のフォーラムでは、「博士活躍社会のエコシステム」をテーマに、産業界・行政・大学・地域社会・国際コミュニティなど多様な立場の関係者が集い、博士人材が持続的に育成され、その力を社会で十分に発揮できる仕組みについて議論します。

本フォーラムの主要企画の一つとして、大学院生によるグループ発表セッションを実施します。分野や大学の異なる大学院生がチームを組み、博士人材のウェルビーイング向上をテーマに、エビデンスをもとに議論を深め、産業界・行政・大学などのステークホルダーに向けて提言を行う実践的な企画です。

本セッションは、多様な専門分野を持つ仲間との対話を通して、博士課程学生のウェルビーイングを取り巻く課題を多角的に捉え、より良い研究生活について考える貴重な機会となります。また、自身の考えを社会に向けて発信し、異なる立場の参加者との議論を通じて視野を広げる経験にもつながります。ぜひ本企画にご参加いただき、新たなつながりや学びを得る機会としてご活用ください。

別添資料にて企画の内容についてご確認ください、参加をご希望の場合は、【8月31日（月）までに】下記のフォームよりお申し込みをお願いします。なお、応募多数の場合は、参加人数を調整させていただく場合がございます。

【申込フォーム】

<https://forms.office.com/r/XkzsHPYpHQ>

【大学院教育改革フォーラム 2026 事務局】

〒819-0395 福岡市西区元岡7-4-4

国立大学法人九州大学学務部学務企画課内

TEL 092-802-5927

MAIL gakikaku@jimu.kyushu-u.ac.jp

大学院教育改革フォーラム 2026 学生グループ発表 実施概要

フォーラムにおける企画として、大学院生による学生セッションを実施します。本セッションでは、分野や大学の異なる大学院生が協働し、博士課程学生の「ウェルビーイング向上」という現代的かつ重要な課題に対して、エビデンスに基づいた具体的な提言を構築・発信します。本企画は、単なるアイデア創出や意見交換にとどまらず、先行調査・事例を踏まえながら、政府・企業・大学・研究科・指導教員・家族等の多様なステークホルダーに対して実行可能な提言を提示することを目的としています。さらに、本セッションの成果はフォーラム終了後に「提言集」として整理・公開され、大学院教育改革への実質的・持続的な貢献を目指します。

■企画概要 卓越大学院プログラム及び博士課程教育リーディングプログラムの履修生をはじめとする大学院生が、4-5 名程度のグループを構成する。各グループは、博士課程学生のウェルビーイング向上に向けて、実証研究や先行事例等を参照しながら、具体的かつ実行可能な提言を考え、様々なステークホルダーに向けて発表する。

■スケジュール 8 月 31 日（月）：参加学生募集の締切
10 月 1 日（木）：グループ決定の通知、事前ワークの案内
10 月 23 日（金）18:00-20:00：第 1 回事前ワーク（オンライン）
11 月 20 日（金）：グループごとに 5~6 件の提言を提出
12 月 4 日（金）18:00-20:00：第 2 回事前ワーク（オンライン）

12 月 18 日（金）提言作成ワークショップ（プレゼン準備）
12 月 19 日（土）ステークホルダーへの提言発表

■開催場所 ・12 月 18 日（金）：エルガーラホール・中ホール
（福岡市中央区天神 1 丁目 4 番地 2 号）
・12 月 19 日（土）： // ・大ホール

■開催方法 ・事前アンケートの結果に基づき、「博士課程学生のウェルビーイング向上」に関する関心テーマ（例：留学生支援、女性研究者支援、社会人学生支援等）を考慮して、グループを編成する。
・第 1 回事前ワーク（オンライン）では、学生セッション概要説明、グループごとの打ち合わせを行う。
・各グループは、先行研究や事例調査（AI の活用を含む）を踏まえ、エビデンスに基づく提言を 5~6 件を作成し、11 月 20 日（金）までに提出する。
・第 2 回事前ワーク（オンライン）は各グループが提言の発表・投票を行う。
・フォーラム 1 日目には、得票数の多かった提言をステークホルダー別（政府・企業・大学・研究科・教員・家族等）に整理し、全体として統合する。
・フォーラム 2 日目には、提言内容を 5~10 分で発表し、ステークホルダーからフィードバックを受ける（質疑応答は 3 分程度）。

- 使用言語 英語／日本語。日本人学生と留学生を組み合わせたグループを編成する。スライドは日英併記を基本とする。
- 表彰 原則なし。本企画では、従来の順位付け型の表彰ではなく、多様な提言を公開し、大学院教育改革につなげることに重点を置く企画とする。
- 成果の活用
 - ・最終成果は「博士課程 Well-being 提言集」として整理し、大学院教育改革に資する実践的知見としての活用を見据え公開予定。
- その他
 - ・原則、フォーラム開催当日（２日間）は必ず現地参加をお願いします。
 - ・学生発表企画参加学生は 12 月 18 日(金)18:10 より開催されるレセプションへご招待します(無料)。

大学院教育改革フォーラム 2026 開催企画概要

■ 開催日程

令和8年12月18日（金） 13:40～17:50 [レセプション:18:10～19:30]

令和8年12月19日（土） 9:30～12:15

■ 会場

TKP エルガーラホール（福岡県福岡市中央区天神1丁目4番地2号）

■ 開催形式

2日間対面実施、一部プログラムのみオンライン同時配信予定

■ 主な使用言語

日本語、メイン会場は同時通訳あり、プレゼン資料や広報は日英併記

■ メインテーマ

『博士活躍社会のエコシステム』

■ 開催趣旨

AIをはじめとする技術革新、地球規模課題の深刻化、価値観の多様化により、社会はこれまでにない複雑性と不確実性に直面しています。こうした時代においては、深い専門知に加え、分野横断的な視点と総合知を備え、複雑な利害を調整しながら新たな価値を構想・実装できる博士人材の力は、産業界・行政・大学・地域社会・国際コミュニティのいずれにとっても不可欠な社会基盤となりつつあります。

しかし日本では、博士号の価値が社会に十分に浸透しておらず、博士人材が本来発揮できるはずの企画力・構想力・突破力が社会の変革に十分に結びついていません。持続的な社会発展と日本の再成長のためには、博士が多様な領域で活躍し、その成果が正当に評価され、次世代へと還元される「博士活躍社会のエコシステム」を構築することが急務です。このエコシステムは、国内外の博士人材が社会の原動力として循環的に活躍する、新しい社会モデルそのものです。

その実現には、博士課程への進学（入口）、学位取得と研究活動（中間）、社会での活躍（出口）を、大学内部の枠を超えて社会全体の価値創造プロセスとして再設計することが求められます。産業界・行政・大学・地域社会・国際コミュニティが連携し、博士人材が社会課題の解決と新産業の創出に挑む「共創の場」を形成することが、持続的なエコシステムの駆動力となります。特に企業においては、博士人材が研究開発の中核や技術経営の推進役として、イノベーション戦略の根幹を担う存在であり、産業界の参画はこのエコシステムの実効性を高める鍵となります。

また、博士人材の国際的流動性は、日本の知的競争力と社会の持続可能性を左右する重要な要素です。国籍を問わず多様な博士人材が力を発揮し続けられる環境を整えることは、グローバルな課題解決と国際連携の深化にも直結します。さらに、研究者自身がその能力と創造性を持続的に発揮し続けるためには、博士人材の「ウェルビーイング」に目を向け、心身の健康や心理的安全性、活動しやすい研究環境を保障することも欠かせません。

本フォーラムでは、産業界・行政・大学・地域社会・国際コミュニティの多様な視点を結集し、博士人材が持続的に育成され、社会へと円滑に輩出され、活躍が循環的に広がるエコシステムをいかに構築するかを議論します。入口から出口までの各段階を社会全体で支え合う仕組みを再設計し、未来に向けた持続可能な博士活躍社会の姿をともに描きます。

【プログラム】（7月時点）

1日目：2026年12月18日（金）@エルガーラホール

時間	プログラム内容	
12：30～	受付・開場	
13：40 ～14：00 (20分)	◆開会の辞：赤司浩一 総長 開会の挨拶：文部科学省 独立行政法人 日本学術振興会	
14：00 ～14：30 (30分)	◆基調講演 岡本青史氏 （富士通株式会社 執行役員常務 / 富士通研究所長）	
14：40 ～16：00 (80分)	◆事例紹介・パネルディスカッション 異分野や多様なフィールドで活躍されている方々数名にご登壇いただきご経験等をお話いただいた後、パネルディスカッションを予定 ・岡本青史氏 ・鍵本忠尚氏（株式会社ヘリオス代表執行役社長 CEO） ・許斐ナタリー氏（九州大学副理事/国際戦略企画室教授） ・薮本沙織氏（株式会社三菱総合研究所 組織・人材戦略本部 政策研究・コンサルティンググループ 兼 CR部 未来共創グループ 主任研究員） ・経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携推進室	
16：20 ～17：50 (90分)	◆学生グループ活動 「博士課程の Well-being 向上へ向けて：提言作成ワークショップ」	◆特別セッション 『外国籍博士人材の「日本定着」と「活躍」』 ・谷口直也氏（奈良先端科学技術大学院大学 教育推進機構キャリア支援部門 特命助教/ TRI-PhD SALON 代表） ・プカあや氏（沖縄科学技術大学院大学 研究科長オフィス プロフェッショナル・キャリア開発 プログラムスペシャリスト TRI-PhD SALON 副代表） ・伊勢田一也氏（旭化成株式会社/マテリアル新事業開発センター/蓄エネルギー研究所 マネジャー） ・朱星氏（日産自動車株式会社 総合研究所）
18：10 ～19：30 (80分)	◆レセプション	

2日目：2026年12月19日（土）@エルガーラホール

時間	プログラム内容
9：00～	開場
9：30 ～10：45 (75分)	◆学生発表 「博士人材の Well-being 向上へ向けて：多様なステークホルダーへの 提言発表」
10：45 ～11：45 (60分)	◆特別講演 安宅和人氏 (慶應義塾大学環境情報学部教授/LINE ヤフーシニアストラテジス ト)
11：45 ～12：15 (30分)	◆閉会の辞